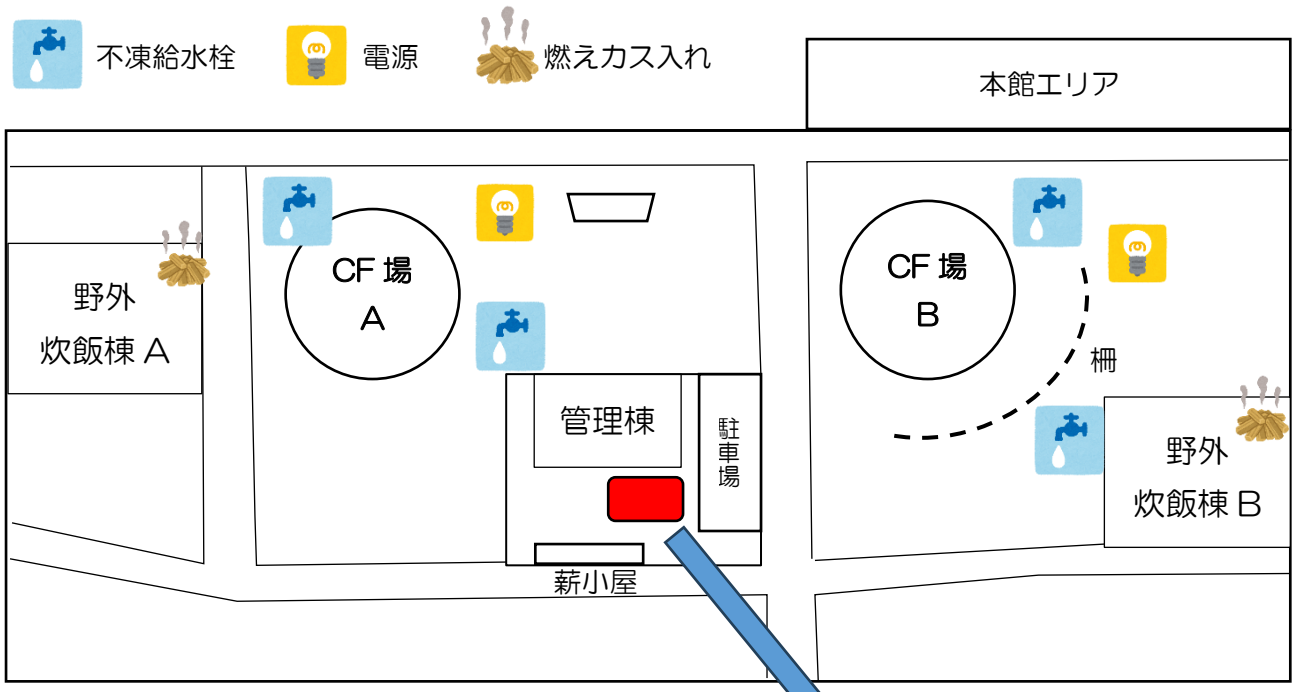
松島自然の家

キャンプファイヤーの当日の流れ（指導者用）



1 準備について

① **物品の確認を行ってください。**

※支援担当者が使用物品を管理棟の裏に用意しています。
受け取りの時間については、支援担当者と打ち合わせておきましょう。





【長時間用】
薪　１２本
焚き付け用薪　１束
ホース　１本
灯油　空き缶１本分



【短時間用】
薪　２０本
焚き付け用薪　２束
ホース　１本
灯油　空き缶１本分

② **台車を会場に運び、台の上に薪を組んでください。**

「井桁（いげた）組」（右写真参照）をおすすめしています。
着火後に崩れないよう、安定していることを確認してください。
※短時間用の薪は、回転防止のために一部を平らにしてあります。
平らな面を下にして組んでください。



着火の際の注意：
灯油を薪にかける作業は大人が行ってください。また、大変危険ですので、
<u>灯油を注ぐのは、火を点ける前に</u>行ってください。（途中では注ぎません。）



③　**ホースを設置してください。**

会場周辺の地面に「**不凍給水栓**」があります。ふたを開けてホースを設置してください。





活動中に火が飛んだ場合に、
すぐ消火できるよう、**火の近く**
まで伸ばしておきましょう！

④　**電源の準備をします。**

マイクや音源などを使用する場合には、明るいうちに電源の場所を確認してください。
必要に応じて放送用アンプ（マイク、CD 使用可）やドラムコードをお貸ししますので、支援担当者にお声掛けください。

音源使用上の注意：
各会場の近くには民家がありますので、夜間のご迷惑にならないよう音量の御配慮をお願いいたします。


CF 場 A


CF 場 B

2　後片付けについて

①　**活動終了後は、団体の代表者が完全に消火したことを確認してください。**

⇒できるだけ燃やし尽くしてから、近くの野外炊飯棟の燃えカス入れ（切ったドラム缶）に入れてください。（道具は野外炊飯棟のものを使ってください。）

※暗い中で作業が難しい場合には、**翌日の朝（８：１５頃）まで**に作業を終えてください。

②　**団体のみなさんで椅子など使用したものを片付けてください。**

椅子　→　野外炊飯棟のもとの場所へ

ホース、灯油の缶（中身が残っていても OK）、ドラムコード　→　台車に乗せて管理棟の裏へ

放送用アンプ　→　事務室へ

③　**①、②が終了したら代表者は事務室の職員に報告してチェックを受けてください。**

代表者１名以上の立ち会いをお願いします。



3　よくある質問

Q１　トーチや衣装は借りられますか？

Ａ１　貸し出しはしておりません。各団体での準備をお願いします。

Q２　キャンプファイヤーの流れはどうしたらいいですか？

Ａ２　本所のホームページに進行例（台本）を載せていますので、一例として参考にしてください。

Q３　強風のときはどうなりますか？

Ａ３　火の粉が飛んで危険だと判断した場合には、中止になることがあります。
万が一の場合に備えて、代わりの計画もご用意ください。

Q４　ベンチ以外の椅子はありますか？

Ａ４　野外炊飯棟の椅子が使用可能です。終了後に元に戻してください。